



OKAZUDAISAN

だいさんかわらばん 令和3年 2月号

安全、安心、そしてきれいな町創り

令和3年度の町内会活動に向けて

岡津第三町内会 会長 北島良三

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の脅威に全世界が覆い尽くされた1年でした。そして、その脅威の前に、オリンピックをはじめ国内外の多くのイベントが中止か規模の縮小に追い込まれました。

当然、私たちの身近な地域や学校の行事も中止や規模の縮小を強いられ、第三町内会においても、夏祭りや餅つきなどのイベントはすべて中止となりました。

また、緊急事態宣言下の4月には、町内会結成以来、初めてとなる書面表決による定期総会が行われ、その後も、班長や役員が一同に会する機会もないまま年を越すと云う事態に陥りました。

しかしながら、そうした状況の中でも、町内会としては、日々の防犯パトロールをはじめ、広報活動、水辺愛護会による「集いのまほろば」の清掃活動、減災に向けた安否確認訓練、高齢者へのご長寿記念プレゼントなど町内会としての活動を実施する事ができました。さらに、ゴミ集積場の看板のリニューアルや防災備品の拡充などが現在進行中です。

いずれの活動も、お祭りや運動会に、比べると地味な印象の活動であると思います。町内会と云うと、ともすればお祭りなど、イベント事に目が行きがちですが、こうした地味な活動が町内会の目的である【安全、安心、そしてきれいな町創り】を实践する基本的なファクターである事は、あらためて云うまでもない事で

す。云い換えるならば、令和2年、コロナ禍に触まれながらも、町内会としては、最低限のやるべき活動が継続できたと思えます。



年が明けたかと云って、今の状況が大きく好転するとは、誰も考えていないでしょう。事実、この原稿を書いている1月15日現在、全国11都府県に2度目の緊急事態宣言が発令されており、新年を迎えコロナ禍は、むしろ悪化する状況にあります。

しかし、当然の事ですが、そうした状況下でも、私たちは日々の生活を過ごしていかなければなりません。そして、そのためには、【安全、安心、そしてきれいな町創り】を实践するベーシックな町内会の活動を維持、継続していく必要があると思います。

令和3年、コロナ禍により先行き不透明な部分が多く、社会経済的にも精神的にも萎縮しがちな状況が続くようにと思われまます。しかし、こうした時期だからこそ、十分な感染症対策を前提に、町内会のベーシックな活動を継続し、また、それによってコミュニティとしての関係性の維持、強化を図って行く、そうした行動が大切なのではないのでしょうか。

今年も、町内会活動に対するご理解とご協力をお願い致します。
(2021.1.15)

第三町内会のHPをご覧ください

泉区連合自治会町内会のホームページの中に、私たち岡津第三町内会のページがあります。掲示板の域を超えるものではありませんが、町内会に関わる必要最低限の情報を掲示するようにしています。ぜひ一度クリックしてみてください。



岡津第三町内会

検索

PCからも、スマホからもOK!



令和2年社会福祉関連事業

への協力実績

令和2年、社会福祉関連事業へのご協力の結果を報告致します。ありがとうございました。

□ 令和2年度泉区社会福祉協議会賛助会費

85,100円

□ 日本赤十字社会費(活動資金)

80,800円

□ 赤い羽根共同募金

117,495円



令和2年度の町内会活動の振り返り

コロナ禍の中、大変な事もありました。ご苦労様でした！



防犯パトロール 年間251日の実績

防犯部と防犯ボランティア【だいさんひまわり隊】による防犯パトロールは、年末年始と夏休みを除いて、夜間は毎日8時から、また昼間は火木土の週3日、午後2時半から行っています。昨年の実績は、4月の緊急事態宣言下での中止もありましたが、実施日数は251日、延べ参加人員は1,217名でした。

防犯パトロールの目的は犯罪抑止です。特に、空き巣や忍び込み等の窃盗の抑止に成果を上げています。また、最近では、特殊詐欺の受け子の排除にも効果があるようです。

但し、こうしたパトロールも、現在のところ町内会の役員OBがメンバーの中心ため、

参加者の高齢化が進行、近い将来、その活動を縮小せざるを得ない状況が予測されています。町の安全、安心を維持するために、1人でも多くの方の防犯ボランティアへの参加をお願いします。



【連絡先】*防犯部長 平田充寛(川向5班)

敬老イベント（ご長寿記念）の実施

10月25日（日）午後、町内の75歳以上の方に、ご長寿記念を贈ると云うイベントが行われました。

毎年、敬老の日に岡津小学校で行われる中川地区敬老会が、コロナ禍の為に中止になった事を受けて、福利厚生部によって急遽企画されたイベントでした。

コロナ禍の影響もあり、プレゼントをお渡しするだけのイベントになってしまいましたが、それでも、子ども会のチビっ子達からのお祝いのコメントが添えられたプレゼントは、なかなか評判でした。

最終的に、80名以上の高齢の方にプレゼントをお渡しすることが出来ました。福利厚生部ほか、準備や当日の対応にご協力いただいた皆様、お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

ゴミ集積所看板のリニューアル

町内のゴミ集積所の看板を順番にリニューアルしています。限られた役員が順番に作業を進めますので、町内の18ヶ所のゴミ集積場所(ごみ箱は28個)全てを変えるには、少々時間が掛かりますが、お待ち下さい。



減災「安否確認訓練」の実施

10月25日（日）午前中、震災時安否確認訓練を実施致しました。

安否確認訓練とは、大震災発生時に「家族が無事ならば、玄関や門扉など公道等に面した場所に、タオルを掲出する」と云う中川地区での統一行動を訓練するものです。また提出の目的は、地域で安否確認方法を統一する事で、安否に問題のある世帯を素早く確認でき、消防等よる効率的な救助活動が期待できる点にあります。

今回の訓練の結果は、タオル掲出数は167世帯、掲出率46%（対象世帯364）でした。前年に比べると124%の増加でしたが、50%以下の実績には課題が残ります。コロナ禍の中、定例会の開催が制限され、情報が不徹底だった点が指摘されており、その点を改善して、次の訓練につなげたいと思います。

水辺愛護会、予定通りに活動！

この地域にとって貴重な水辺環境である“集いのまほろば”、その環境保全を行っているのが第三町内会を母体とした水辺愛護会です。

3月から11月までの間、毎月第3日曜の午前中、集いのまほろば一帯と阿久和川沿いの遊歩道の清掃及び除草活動を、また、年間を通して毎日曜日、まほろばのトイレ掃除を行っています。昨年は活動開始の3月時点で、コロナの影響から実施が危ぶまれましたが、屋外の活動でもあり、感染防止策の徹底を前提に活動を開始し、その後も一回も休むことなく、11月15日をもって、年間の活動を終了致しました。

この水辺愛護会も会員の高齢化から、規模の縮小が懸念されています。冒頭書いたように、まほろばは、この地域にとって、貴重な自然環境です。特に、この夏はコロナ禍によるスティホームの影響か、水辺で遊ぶ家族をよく見かけ、この環境の大切さをあらためて感じました。この環境を維持するために、老若男女を問わずボランティアを募ります。ジョギングやお散歩でご利用される皆さん、お力をお貸し下さい。

【連絡先】

*水辺愛護会 石川啓治郎(まほろば4班)

3月にはワクチン接種が始まるとの話もあります。令和3年、コロナ禍が一掃される事を願いつつ、安全、安心、そしてきれいな町をめざしましょう

